

自然災害で

必要とされる

経済対策の規模

第一生命経済研究所
経済調査部
首席エコノミスト
永濱 利廣



Toshihiro Nagahama

臨時国会中に 打ち出される観測の 経済対策

政府は自然災害の復旧作業に対応すべく、十月四日に開会となった臨時国会中に経済対策をまとめることが期待される。特に経済対策の規模については、台風一九号の復旧・復興に対して、大型の補正予算が組まれることが予想される。

そこで以下では、まず必要な経済対策の規模から計測してみよう。経済対策の規模を設定する際に一般的に参考にされるのが、潜在GDPと実際の実質GDPの乖離を示すGDPギャップ率である。直近の二〇一八年のGDPギャップ率は、内閣府の推計によれば十・四％とプラスを維持している。

しかし、直近(二〇一九年十月時点)の民間エコノミスト経済成長率平均予測(ESPフォーキャスト十月調査)に基づいてGDPギャップ率を延伸すると、二〇二一年一

三月期時点で▲〇・九％のデフレギャップが生じることになる。従って、このGDPギャップを解消するのに必要な規模の経済対策を前提とするだけで五兆円規模の追加の経済対策が必要になる。

ただし、今回発生した台風、豪雨によつて、巨額な資本ストックの被害が発生していることが予想される。実際、国土交通省によれば、西日本豪雨などがあつた昨年の水害被害額を一・三五兆円(うち西日本豪雨で一・一六兆円)と試算しており、発生年度に打ち出された補正予算の規模は三・九兆円となつている。これに対し、総務省消防庁によれば、台風一九号に伴う住宅被害は全体で八・五万棟となり、二〇一八年の西日本豪雨の五・一万棟を超えている。また国土交通省によると、今回の台風による浸水被害は二・五万軒を超え、西日本豪雨の一・八五万軒を上回っている。こうした状況に基づけば、すでに国土強靱化関係三カ年緊急対策として今年度予算で一・三兆円強の予算を計上

しているが、これに加えて需給ギャップの解消に必要な需要創出額五兆円規模の補正予算が必要となる。つまり、今回の被害規模からすれば、国土強靱化関係の予算の上乗せを加味しても、災害の復旧・復興の費用に需要不足解消を加えることで、最低でも五兆円程度の規模の補正予算が必要となる。

メニューは 二〇一八年度の 補正予算が参考

一方、経済対策のメニューについては、豪雨や台風、地震といった天変地異が相次いだ昨年度の補正予算が参考になる。

具体的には、西日本豪雨が発生した二〇一八年度において二回に分けて打ち出された補正予算が参考になる。このメニューでは、第一次が災害からの復旧・復興予算、第二次では国土強靱化策が柱となった。特に、一次補正の経済対策では

二つの柱が掲げられた。一つ目の柱が「災害からの復旧・復興」であり、西日本豪雨や北海道胆振東部地震、台風二一号、大阪北部地震等への対応が挙げられていた。そして二つ目の柱が「学校の緊急重点安全確保対策」であり、エアコン設置など熱中症対策や倒壊の危険性のあるブロック塀対応等が挙げられていた。一方、二次補正の柱が「重要イン

五輪特需の 反動減を緩和か

以上より、十月四日から開催されている臨時国会において、一刻も早く台風一九号対応の補正予算が提出されることが期待される。具体的には、台風一九号の復旧対応に加え、被災地の耐久財買い替え支援等の歳出も含まれることが期待される。

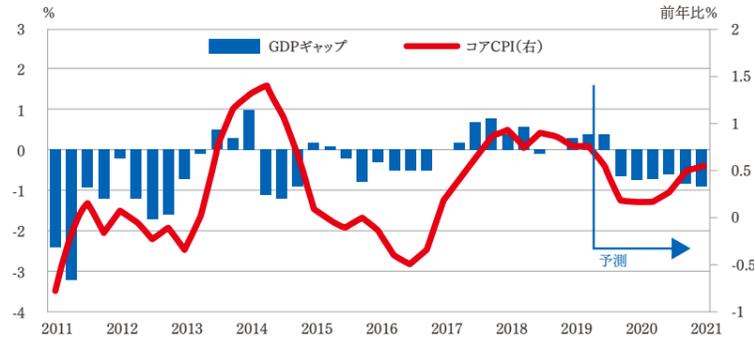
ただし、こうしたメニューだけでは事業規模は五兆円に届かない可能性もある。従って、実際に打ち出される補正予算については、災害対策に加えて安倍首相が予てから防災・減災の緊急対策を三年間で集中実施するとしている国土強靱化関連の歳出が上乗せされる可能性もあろう。実際、民主党政権により事業が一旦中止となつた後に

建設事業再開となつた八ッ場ダムは、十月一日に試験湛水が開始されたばかりだが、今回の台風一九号により満水になり被害の軽減に貢献した。こうしたことで、国土強靱化へのニーズがより高まることになろう。

なお、公共事業に関しては、建設業界の人手不足の深刻化により工事が予定通り進まない懸念する向きもある。しかし、国土交通省の建設労働需給調査によれば、建設技能労働者の過不足率は二〇一四年度以降急速に不足率が縮小して以降は安定している。従って、東日本大震災からアベノミクスの初期段階における補正予算に比べれば、GDPの押し上げ効果は顕在化しやすい可能性がある。

過去のオリンピック開催国のパターンを参考にすると、関連する建設投資は二〇一九年度後半にピークアウトしている可能性があり、この反動減の部分を今年度補正予算における景気対策により緩和することが期待されよう。

GDPギャップの推移 ～増税後に大幅マイナスの可能性～



(出所)内閣府、予測は10月ESPフォーキャストに基づく